



増上寺惣門

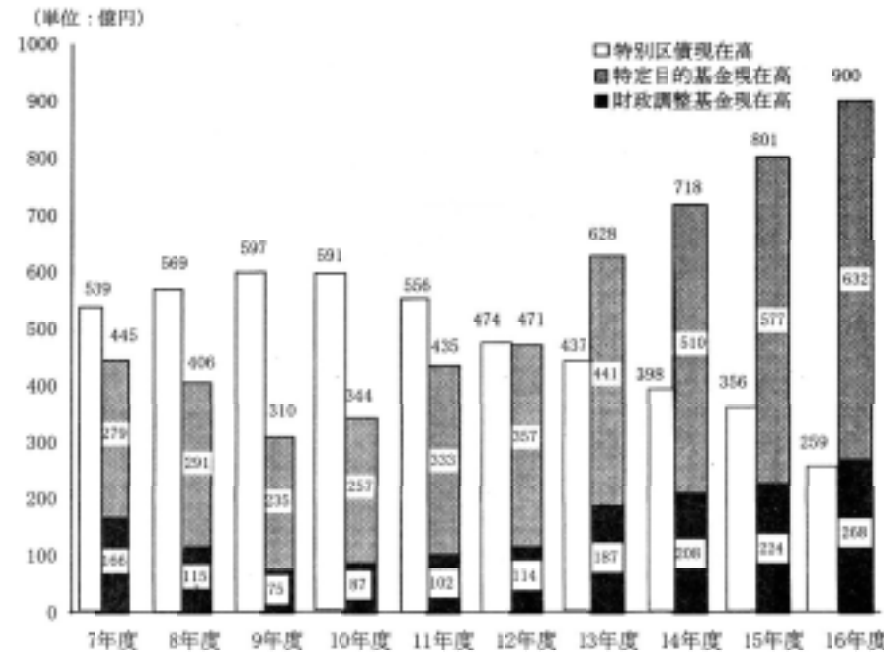
きれいに修復
(国指定重要文化財)

旧台徳院靈廟惣門の修復がようやく行われ完了間近です。素晴らしい惣門が復活します。

今度は、二天門の補修の番です。管理者である西武鉄道にも費用負担を求め早期修復を求めました。

豊かな財政をくらし・福祉・中小企業に

特別区債・積立基金残高の推移



二〇〇四年度決算は九三億円の黒字、基金残高が九月末現在で九五四億円と区政史上最高の基金となっています。

党区議団は、この豊かな財政を区民のために使うよう提案しました。

具体的には、

- 出産祝金の支給、
- 児童手当について、港区独自の拡大を図ること。

- ベビーベッドなど子育て用品の貸出制度の創設。
- 保育料の引き下げを行うこと。
- 教育にかかる父母負担の軽減を図ること。
- 区立保育園の増設、児童館の増設を行うこと。
- 介護保険料の抜本的な減免制度を行うこと。
- 六五歳以上の高齢者に寿商品券贈呈事業とは別

区の積立金が954億円にも



熊田ちづ子

区政報告

日本共産党港区議会議員

2005年11月
No. 53

発行
日本共産党港区議員団
TEL 3578-2945
連絡先: 東麻布2-3-7
TEL 3583-1402
Eメール kumada@jcp-mina
tokugidan.gr.jp
HP <http://www.jcp-mina.tokugidan.gr.jp/>

無料生活相談

毎月十二日 夜六時

飯倉福祉会館を予定しています

「連絡をお待ちします」

に長寿祝金の支給を。

早急に取り組むこと。
：などを提案しました。

絶叫マシン設置反対の請願採択

第三回定例会に六本木商店街振興組合、六本木町会など十団体から「早急に工事の行政指導と解体要請を」と区議会に提出された「ドン・キホーテ六本木店店舗屋上に設置中の構造物「遊戯器械（絶叫マシーン）」設置反対に関する請願」は、全会一致で採択されました。



問題の絶叫マシンは、八階建てのドン・キホーテ六本木店の屋上につくられるもので、高さが二十一メートル、地上からの高さは五十一メートルにもなります。請願者は「深夜にまで騒音や叫声が響き渡る、環境が悪化し子どもたちへの影響も心配」と訴えました。党委員は、「周辺環境を全く考えない計画。しかも設置義務のある駐輪場も、事業優先で使いづらい地下や屋上に つくる。経営者の姿勢も問われる」と、採択を主張しました。

緊急要望書を提出

日本共産党港区議員団(6名)は十月十八日、武井雅昭港区長に「緊急要望書」を提出しました。区民生活に関わる緊急課題八項目です。

①特別養護老人ホームなどを建設する上で、南麻布四丁目の自治大学跡地等を低廉な価格で払い下げなど

②を早急に国に求める。③住民から大きな反対の声が上がっている六本木・虎ノ門地域の再開発など、近隣住民の納得あるまで進めない。④介護保険の改悪による入所者への負担増の実態を詳細に調査し、個室の減免、社会福祉法人への支援を。⑤コミュニケーションバスによる交通不便地域の解消と七十歳以上の希望者への無料券支給を。⑥子育て支援策の強化を。⑦「自立支援法」を拙速に決めないよう国に早急に働きかけること。などを求めました。

武井区長は、「どの項目をとっても、港区には重要な課題。頂いた要望は検討します」と応えました。



緊急要望書を提出する党区議団(10月18日)



ショートステイ

申し込み方法が改善へ

在宅介護をされている方にとって、ショートステイは大変大事なサービスです。毎月ショートステイを利用できるかどうか、家族にとっては大変重要なために、申し込みの初日に予約が殺到する状況が続いており、申し込み方法の改善を求める声が多く寄せられていました。これまでに度々議会でも取り上げ改善を求め、電話だけからファックスでの申し込みもできるよう改善されましたが、初日に集中するために電話やファックスが話し中からかからない、やっとかかったと思ったらキャンセル待ちになるといった苦情が後を絶ちませんでした。そうした実態を取り上げ、利用しやすい方法に改善するよう求めました。区は「先着順となっている現方式を改める前提で早急に検討する」と改善を約束しました。

どのような改善策がいいか、党区議団にご意見をお寄せください。

放置自転車をなくすために

駐輪場を無料に



放置自転車は区内の至る所で問題になっていますが、増え続ける自転車需要と場所の確保の困難さからなかなか解決できないでいます。ところが駐輪場が整備されているにもかかわらず、その周辺で放置自転車が後を絶ちません。現在駅周辺で駐輪場が整備されている

ところは九駅ですが、そこで駐輪場の使用状況を調査（調査日十六、五、三十一日）したところいずれも低い稼働率です。放置自転車をなくすためにも、駐輪場の稼働率を上げるためにも駐輪場の無料化を求めました。

田町駅西口

駐輪場は急務

田町駅西口周辺の自転車は約一〇〇〇台、これまで求めましたが、未解決のままです。駅前ロータリーの整備にもなっており、それ

までロータリー内に駐車してあった自転車が周辺の国道沿いに広がっています。三月にはロータリーの整備は終了していますが、ロータリー内はバリエードが置かれたままになっていま



歩道にあふれる自転車

駅周辺の駐輪場問題をJR、周辺ビル、地元商店街などと協議をし早急に解決するよう求めました。整備されるまでの間はシルバー人材センターの人や時間を増やし周辺の自転車の整備を行い、歩行者の安全を確保するよう求めました。

区立幼稚園6園構想から12園に

15人ルールは弾力的運用

区立幼稚園の配置計画基本方針（平成十年）で、将来的には「区立幼稚園を六園程度確保する」としてこの間、募集時点の応募人数が二年続けて十五人を下回った場合、翌年から園児募集を停止し休園とするいわゆる十五人ルールを適用し多くの区立幼稚園を休園・廃園にし、保護者や関係者に不安を与えてきました。

あくまでも残す方針であることが決算委員会で明らかにしました。

熊田区議は、「十五人ルールを残すことは、子どもや保護者、地域の方に入園児がいない幼稚園が廃園になるのではないかとといった不安を与えることになる。平成二十三年までに十二園が必要と判断したなら十五人ルールは「なくすよう」求めました。教育委員会は「平成二十三年度まで十二園を存続させていくことが重要と認識しているそのための手だてを講じる」と答弁し、具体的策として①十五人は募集時点ではなく四歳児の就園年度内とする②園児募集は区民だけでなく転入予定者も認める③区立幼稚園の就園促進のため未就園保護者への支援に取り組むといった方針が十月二十五日の教育委員会で確認されました。

資源回収 集団回収団体への支援を

区内には町会などを中心に一三三団体が集団回収を行っています。集団回収の回収量も新聞などの古紙類で十六年度は三七六万キロ、区の回収量の二五％を占め、資源回収の重要な役割を果たしています。

アピールするためにユニホーム等団体への支援を強化するよう求め、区も来年度、団体への支援は強めていきたいと答えています。

各団体は、保管場所や手伝う人の問題など多くの困難を抱えながら活動が続いています。集団回収には何よりも地域の方々の理解と協力が必要です。そのために、活動を



資源の集団回収

間引き上げの検討を全然やっていたのはおかしい、集団回収作業は大変、その活動に込めるためにも報酬費の引き上げをすべきだと再度求めました」引き続き実現に頑張ります。

常任委員会・特別委員会の構成が変わりました
熊田ちづ子 保健福祉常任委員長に
特別委員会はまちづくり・子育て委員会に所属します。